

旅で感じる地域の魅力と底力

してきたこと・していること・
そしてこれから

安溪貴子

旅先で

- その場で味わう、その土地ならではの魅力
- 西表・沖縄・奄美などの琉球弧の島々で、
- アフリカで、フランスで、スペインで、……
- 台湾や韓国で、
- その土地の風景・光・風……雰囲気・人々……やがて見えてくるその土地の歴史
- 市場を歩いてみる。
- 運よく招いていただいたら、お手伝いしながらお料理を学ぶ
- 世界の地酒造りについて授業で話すと、「これまで飲んだお酒のうちで、何がいちばんおいしかったですか？ おすすめのお酒は？」と、聞かれる。答えは……

地域の底力

食だけではない、
住も、エネルギーも、水も、
労働力(助け合い)も？

まず地域の暮らしがあって、それから観光
地域を知ること、そして伝えること、
子どもたちが元気であること、
地域を見る目を育てる:学びあい

「お祭り」の意味。
祭りがなくなると村がなくなるのも近い

お話の展開は

- 1) 大都会でなく、山口で暮らすわけ:
- 2) はじまりは、住まいとエネルギーの自給
- 3) 食の自給、
- → 地域内自給だったんだ

- 4) 旅先での学び: 暮らしと祭り

- 5) 足元を見る目を育てる

大都会でなく 山口で暮らすわけ

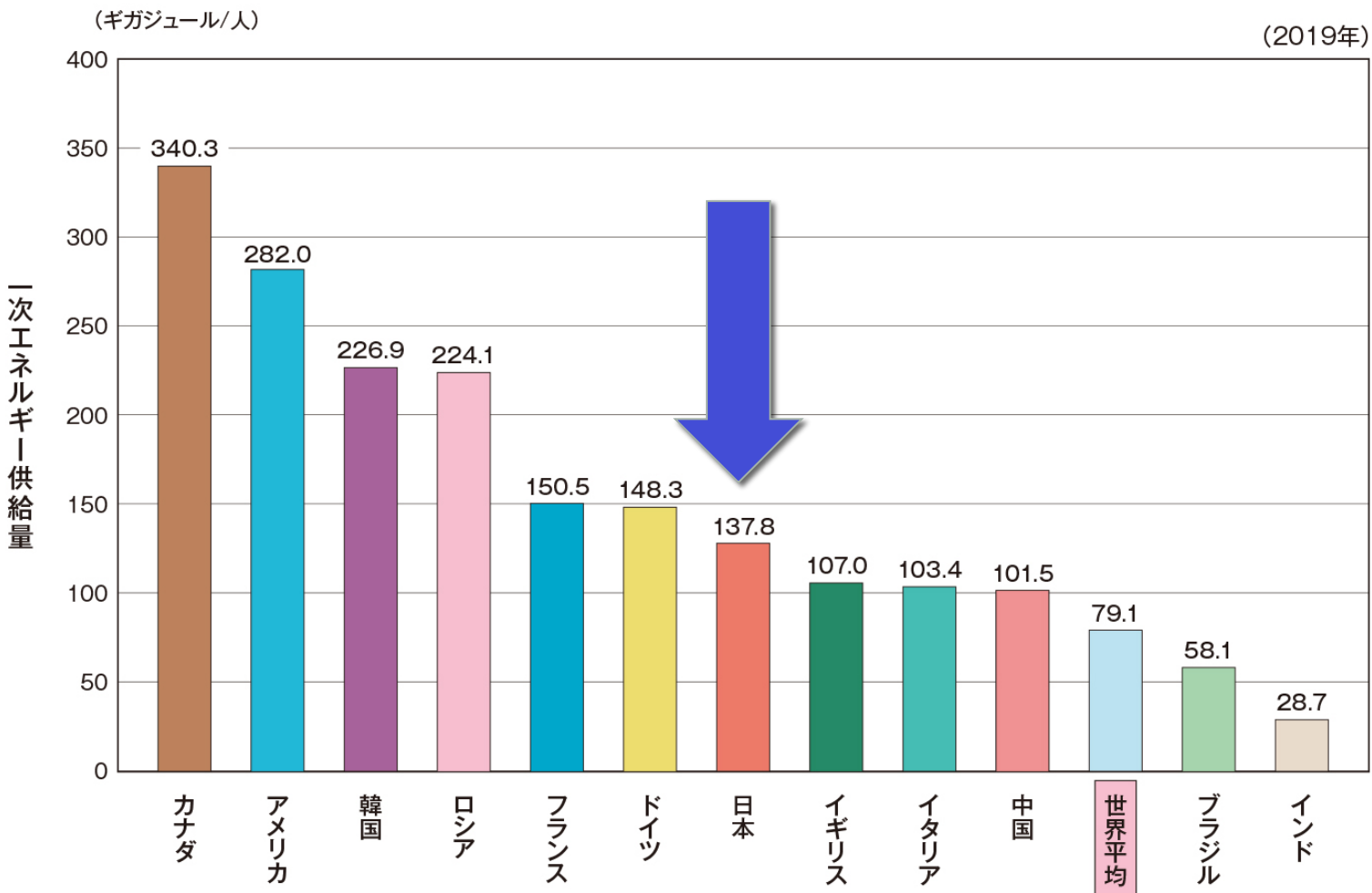
いのちの声に
耳をかたむける

Clean your garden
first !



一人あたりの一次エネルギー供給量(2019年)

世界の一人あたりの一次エネルギー供給量

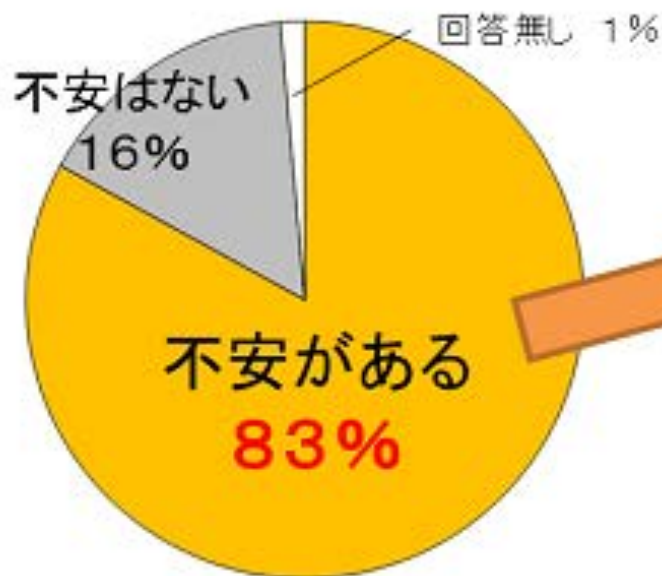


そもそも日本は食料自給率38%

(2019年カロリーベース)で大丈夫？

- 83%の人が「将来不安がある」と答えているのに...。(穀物換算では28%)←飼料としてのトウモロコシを輸入
- 牛・豚・鶏・鶏卵は36%49%64%96%だが、飼料の輸入を計算すると牛10%,豚6%,鶏12%,鶏卵26%となる。

■将来の食料供給に対し...



不安の理由

「不安がある」と
答えた人のうち...

82% が

国内生産による
食料供給能力が低下する
おそれがあるため

と回答。

資料: 内閣府「食料の供給に関する特別世論調査」(平成26年2月)

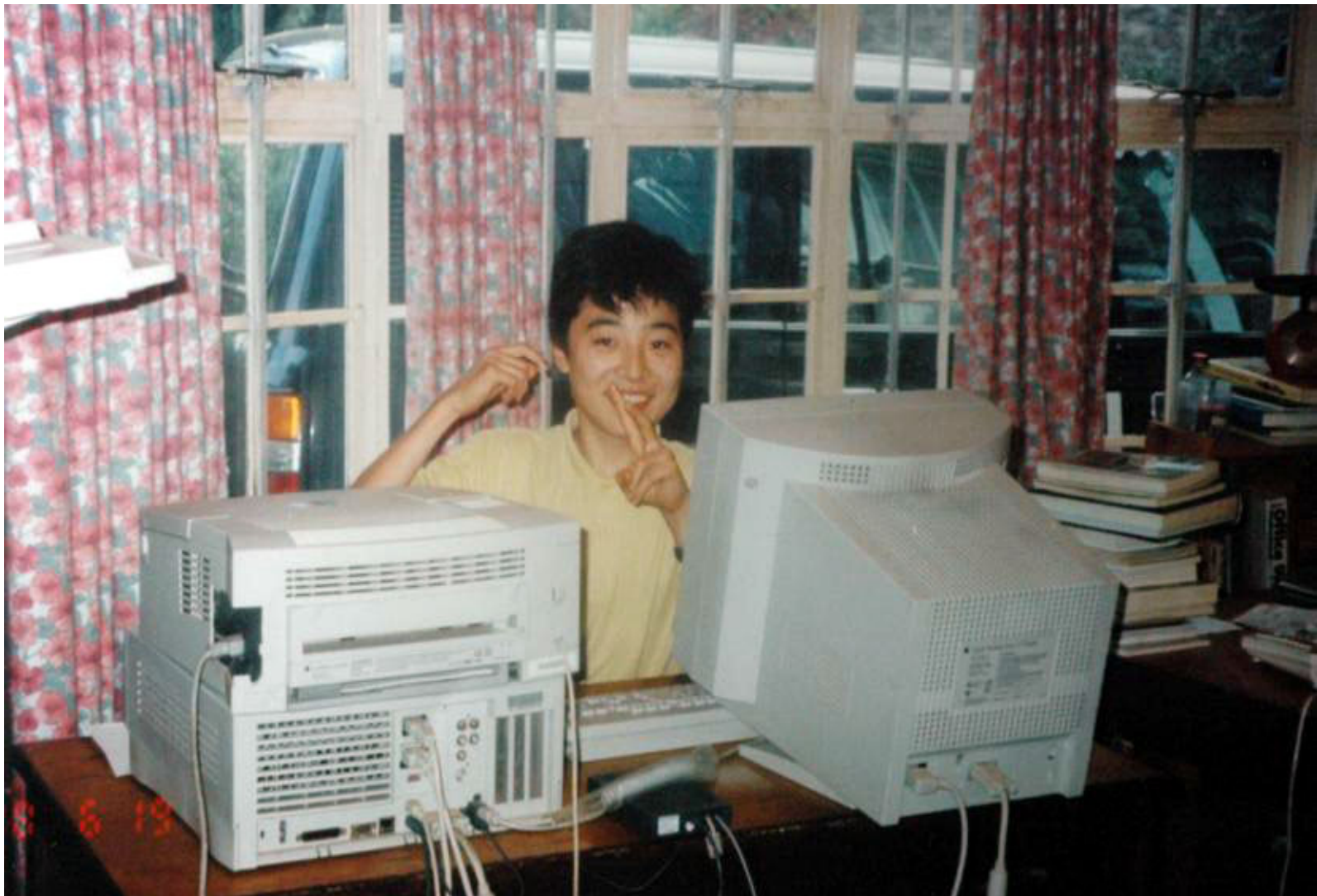
http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012_1.html

ケニアの首都ナイロビの町 (写真は2000年ごろ)

2019年の人口439万人、2010年は226万人だった



ケニアのJSPSオフィスで:家には門番がいて、庭の周り
はレンガの頑丈な壁に割りガラスが埋め込まれていた。
強盗が出るからだった。



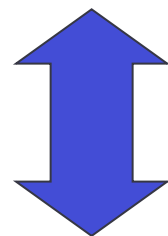
私は苛立ちをおぼえた

- ・門番・夜警がいても**怖いナイロビの暮らし**
- ・電気がきていて明るいオフィスとわが家、水道もガスもある
オフィスの 運転手の家に行ったら、
電気もガスも水道もなかった
- ・息子が熱を出し、車で医者に連れて行く時、
道ばたで**ゴミを焼く煙の上に寝ころんで遊ぶ**
息子と同じ年ごろのこどもたちを見る
→どうすればいいの？
そのとき私はなににもできなかった

貧しい国に子たくさん？

貧しい地域は子どもが多い？

人口爆発？



先進国は少子化をなげく？

なぜ？

ケニアで 岸田袈裟さんが広 めた「かまど」

- 故郷遠野で習った
- 飲用水を沸かす
じゃぐちつきの
鍋が常備(矢印)

- 地元の土で作るので
お金がかからない
- 従来の炉(下の写真)
に比べて、薪が1/4に
減った

seikatsu/seikatsu/
070125/



子どもが死ななくなれば出生率が下がる

(ケニア1998年)

かまどをつくり、
そこに煮沸した飲み水を常時つくと、
5年間で:

- ・死んだ乳幼児は1人
- ・生まれた子供の数は

283人 → 135人に

(岸田袈裟さん 1998年)

粉ミルクの調整に使う水として使ったし、母親が留守の
時にも、子供はこの水を飲むことができた。

自分の暮らし方の見直しをするしかない。

遠いアフリカのみんなに、ご迷惑をかけない暮らしとは？



彼らから日々の食糧を奪わなくてもいい暮らしをする。
せめてその入門編、食べるものくらい 自分で
つくってみよう。

畑を借りて、ジャガイモとえんどう豆を育てた。

ジャガイモの美味しかったこと！

嫌いだったグリーンピースがこんなにおいしいとは・・・

採ってすぐ茹でるとおいしいんだ！

山口に住むことを決めた

本当は、古民家に住んで昔の人の知恵を学びたかった。しかし家を建てることになった
山口市仁保の里山

もうひとつの問題：
日本の森を守ることは
世界の森を守ること

- 日本の森(人工林・里山とも)は、石油文明の導入で、**間伐されず、もやし状**になって暗い森に。
- 森が弱って**災害**を起こしている。
- 日本の森(人工林)を間伐(間引き)して使うことが、日本の森をまもり、それは世界の森(熱帯林や温帯の針葉樹林)をまもることにつながる。 ← **日本の木材を使おう**

1960年の木材自由化で材木の値段が暴落

放置された暗い人工林と間伐された明るい人工林

右は、止むを得ず「切り捨て間伐」になっている



人工林のところから土石流

林業家の友人に指摘されていたが、
まさか自分の裏山が！



山口県の林業農家と出会う

材木の「産地直送」！ 以来ともだちになった



間伐の意味を現場で学ぶ：
「その杉の木を1本伐ると、
上に開いた穴は5年でふさがります」



日本建築はヒノキ・スギ・マツ

松枯れで枯れる前に伐って使えば、
その松は「生き直し」ます。松の木にお願いをする・・・



日本建築の 技と智恵を 薬師寺に学ぶ

無口な宮大工の棟梁から、
「法隆寺棟梁・西岡常一」
を教わる



確かに！南側の柱には節がある

「木は方位のままに使い」

薬師寺東塔(千年前から立っている柱)



石の上に柱を置いて建てれば腐らない 130年でももつ(材木の最高齢が130年)



これなら 木造建築・ 県産材の家

棟上げの日
潮時を見て、神に祈り、
餅まきをした
みなさんが駆けつけてく
ださった



「竹小舞」の壁をつくる

材料は竹とわら縄
「地域の伝統」そのもの
そして「地産地消」



「梅雨までに屋根を葺き、
台風までに土壁をつける」



「自分でやったほうが
下手でも思い出になります」

- ・内装の板をはる
- ・ドリルの使い方を学ぶ
- ・壁は余った檜板を安くわけてもらった



家ができた
建てたここから暮らしが始まる



エネルギーの自給

家の中心は
薪ストーブ

炎が見えるとあたたかい

- お風呂も薪と太陽熱の温水
- 料理はガスも使います



将来はペレットストーブにしたい



本体価格 オープン価格



Evolution
 ちの技
 のよい、信
 の経験・知
 た、今まで
 です。その
 燃料を挿入
 徴。操作性
 が少なくて

ヨーロッパ風に仕上げられたデザイン

Run Quiet System

現在、Evolutionは世界中で
 一番といえるでしょう。

特

高い
 熱交換率

Enviro社製
 最高燃費

自動
 着火装置

◎仕様

最大熱出力	9000kcal
最小熱出力	2100kcal
ホッパー（燃料庫）容量	38kg
暖房目安	約30坪（約60畳）
重さ	100kg
高さ	850mm

ペレットストーブの構造

石油ストーブの感覚で使えます 学校や老人ホームなどでも可

①ホッパー（燃料貯蔵スペース）

ペレット燃料が最大25kg入ります。

②オーガシャフト

燃料を燃焼室に運びます。

③吸気口

外気の取り入れ口です。

④温風ブLOWER

熱交換をした温風を室内送風口に送っています。

⑤温風送風口（熱交換率85%）

熱交換された温風を室内へ送風します。

⑥排気ブLOWER

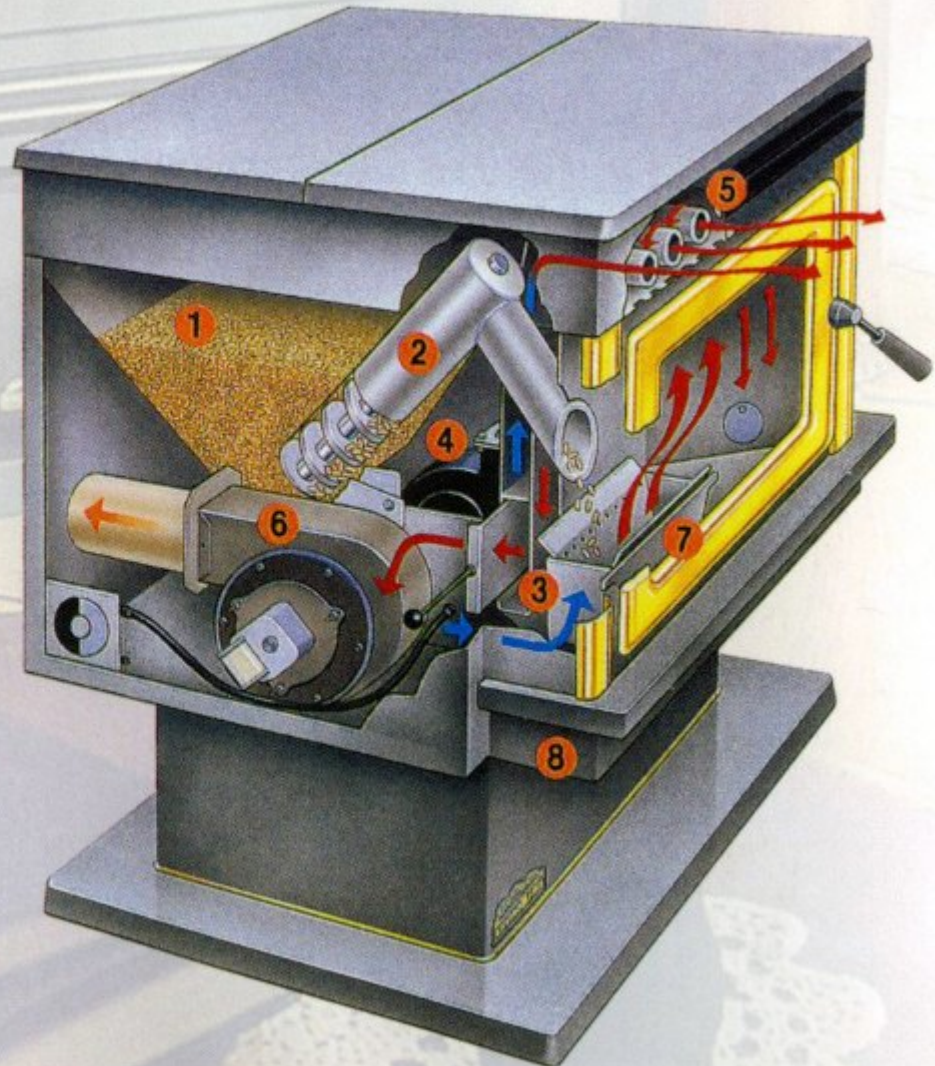
燃焼したガスを室外へと強制的に排気します。

⑦バーンポット

落ちてきたペレット燃料が燃焼するお皿です。

⑧アッシュパン（灰受け）

燃焼時に出る灰がたまる受け皿です。



食の自給：田んぼをつくって25年

お米を買ったことがありません

再生紙マルチで除草する有機栽培



お米が実った。はぜかけ米はおいしい！
みんなで作業するとたのしい



畑の恵みもうれしい (夏)

キュウリ
ナス
トマト
ピーマン
オクラ
ニラ
モロヘイヤ
青ジソなど



藍の生葉染めは青空の色：衣生活へのチャレンジ

藍のインジゴは殺菌力があり、
藍染のシーツは、寝たきりの人の床ずれを防ぐ



今日は「パン曜日」 国産小麦のパンを焼いて



玄米と、とれた野菜・山菜を工夫して



お弁当がおいしい

杉の曲げわっぱのお弁当箱：ごはんがおいしい



「山で遊んだら、山がきれいになった」 —生物学の講義のあとで



自分たちが運 んだ薪で焼く 手作りピザの パーティ

オーブンはドラム
缶を加工

ピザは粉を捏ねる
ことから



家造りから始まった

人のつながりこそが、宝物： 地域の魅力そのもの
地域の方々・学生・留学生・有機農家の方々

宇宙飛行士で農民の秋山さんを迎えて



3.11が起きた:これでいいのか？

- 有機農業を息子が始めた。自給のお米を売ることに！
- 親の私共も田舎暮らしを見つめなおす機会に。



除草がたいへん！



「農家」を始めて、失敗もいろいろ
そして、2年目(2013年)には土石流の被害...
「土がふりだしに戻った」



農薬や化学肥料を使わないで穫れたお米と大豆
「阿東つばめ農園」と名付けた



たいへんだけ
どおもしろい



お米や大豆の放射能も
測っています。

放射能測定結果

2016年10月

福岡県福岡市東区水谷2-2-1
放射能市民測定室・九州909
TEL&FAX 092-410-XXXX

平素はお世話になっております。
さて、ご依頼頂いておりました検体の放射能測定を行いました。
以下の通り結果をご報告申し上げます。

お客様：安溪 遊地 様
検体：山口県産山口市阿東 イセヒカリ玄米
測定に用いた装置：FNF-401（応用光研工業㈱）
測定担当：三上 幸子
測定日：2016年10月20日
測定結果：別紙の通り

コメント：

【図（スペクトル）の見方】

- ・ 横軸がガンマ線のエネルギーの値、縦軸がそのガンマ線を計測した回数を表します。
- ・ 横軸は1チャンネル=2keV（キロ・エレクトロンボルト）という目盛りになっています。100チャンネル=200keV、200チャンネル=400keV…を表します。
- ・ 縦軸は対数での目盛りになっています。1k=1000、10k=10000…を表します。ついでに1目盛りごとに10倍ずつ増えていく目盛りです。
- ・ 放射性物質によってガンマ線のエネルギーの値は固有のもので、もしセシウムが含まれていたら、605keV（=303チャンネル）と796keV（=398チャンネル）箇所にピークが見えます。セシウム137の場合は、662keV（=331チャンネル）のピークが見えます。

ソーラーシェアリングを始めました

2019年
7月



太陽光を、発電と作物で
「シェアリング」7月に1月遅
れて田植え、8月から売電

いまは、地域と大学の架け橋に 学生の皆さんの受け入れ



学生と地域に出る
「地域共生演習」を
いろいろな地域で
やってきた

地域実習で草取り



山口県は田園のなかに、
「大きすぎない町（人口20万人前後）
が点在。山口、下関、宇部、防府、周南、岩国など



田んぼの向こうをSLが走る



里山は農的暮らしの場
「食べるほど」なら癒しの時間



山口に家を建てて20年友だちが宝物です！



ともだちがいっぱい！

- 発想を変える☆と出来ることが沢山ある。新たに思いつくことも多い。
- 自分が主体になって考え、生きるのは、じつに楽しい。苦勞も多いけど生き甲斐がある。
- 同じ思いの友だち・仲間が見つかり、網の目のようにつながってくる楽しさ。
- 辛い現実がいっぱい起こる中で、「元気のいただきあい」ができる。
- ひとつやると次が見えてくる、新しい経験・学びに。

知ルハ難ク行ウは易シ(難知易行)

人新世(ひとしんせい)の脱成長では？

- 斎藤公平2020「人新世の『資本論』」集英社
- 人新世(ひとしんせい)Anthropocene 人間の活動の痕跡が、地球の表面を覆い尽くした年代。
- …資本の拡大を目指す限り、環境破壊は止まないし、「売ればいい」商品ばかりが生産され、それは売れさえすれば、すぐに捨てられるものでも構わない。商品化によって多様性が捨てられ、人も分業化されて、代替可能なつまらない仕事でこき使われ捨てられる。…お金儲けの為に働くことになり、人間らしい仕事から、切り離されていった。
- これをやめればいいのだ。科学を捨てる、昔にもどれと言っているのではない。本当に必要な仕事、生きるのに大切な仕事をする。一人一人が自分らしい仕事で生きる、そんな社会にすればいい。

←生きがいのある、人間らしい仕事と暮らし、身の丈にあった暮らしをしたい。わたしも地球のいのちのひとつつながりだから。

旅先での学び(1)

沖縄の西表島で
家族ぐるみのおつきあい
30年以上
いまも

西表島のフィールドワークから

祭と祈りに

うめつくされた日々

祭りはイベントではない

毎月お祭りがある

祭はみんなでする

大祭「豊年祭」

祭の祈りがはじまる 司(神人)がお宮にこもって祈る



「豊年祭のための釣り大会」 釣れた魚集合



みんなが魚をさばける！



大綱引き……今は都会の大学生も参加 今年の稲藁で造った綱を運ぶ



綱引きが終わって:豊作か子だくさんか



司の銅鑼
で始まる



大祭「シチ（節祭）」

稲作のお正月

猟期外でもイノシシを捕ってよい



イノシシの解体



多くの男性が
解体できる



野生植物バラピを
担いで出す
タケノコも採取



鹿児島県では
準絶滅危惧種(ヒカゲヘゴ)

昆布巻を若嫁さん みんなで巻く



スズリブタは九品入れる

(昆布、赤かまぼこ、揚げ豆腐、猪肉、白かまぼこ、ウイナ、人参、バラピ、魚天ぷら)



シチ祭：始まりの儀式

小中学校が休みになる
子供たちも踊りや出し物を練習する



シチ祭 (干立)



ミルク(弥勒)
の行列

料理もして踊りも踊って 島の外からみんな帰ってくる



モモタマナの木の葉に料理を盛る



地元名 くばで一さー

御嶽では司が貝の皿に料理を盛る (神社) クロチョウガイの貝殻



シチの翌日の村作業

祭の翌日は一人で外を出歩くと、
神様とぶつかって危ないので、出歩かず、
村人総出で村仕事をする。

- 井戸の掃除：井戸の神への感謝
- 猪垣の補修：垣のある土地ごとの神に感謝と祈り

井戸への感謝(祖納)



人の領域・神の領域

- 自然の力と、その向こうにあるカミガミの領域を西表島の人々はよくわかっていた。
- 人間が歩いてもいい「時と場所」がある知らずに行き当たれば神罰をうける、カミガミの遊び場所と出現される時を西表島の人々は畏れをこめて伝承してきた

観光と地域の暮らしをどう両立させるか

- みせかけでない、本当の、本物の暮らしがあるか。
- 食のゆたかさを味わうことができるか？
- 田舎に家があり、「おかえり」といってくれる人がいる。
- 女性がkeyになる。
- 民宿・民泊・交流館という入り口。

スペインでの経験と暮らし

- 農家民宿のこれまで
 - 祭のこと
 - エネルギーのこと
 - など
-
- 時間があったらお話しします

あしもとの生き物を知る

「外に出て草と出会おう、あなたを待っている草の名は？
—分類と同定 そして草の暮らし。生き物から直に学ぶ」

1. 五感を使って生きもの世界から学ぶ
 2. 生きものと出会う：特徴のとらえ方
 3. 生きものの暮らしを観察する：観察の視点
 4. 名前をつける : 名前をつける意味
- Covid19で遠隔講義の中、分類の手ほどきをして、道端の雑草の写真を撮り、採集して名前を調べる。写真は自分が同定した「学名」や観察記録をつけてサイトに送り、共有する。
 - 写真の共有からも、足元の「雑草」の多様性に目を見張る・・・！

セイヨウタンポポ @山口大学

総苞片の反り返りを確かめる。雑種判定表の「4」くらい
開花は春と秋、冬も陽だまりで咲く



bioculの日記から



山口県の里に多い シロバナタンポポ

西日本の在来タンポポ
のひとつ。開花は春だけ



ハルジオン

(bioculの日記 003)

花びらが紫がかり、
細くて数が多い。蕾
がうなだれる。葉が
茎を抱く、など特徴
が分かりやすい。

背景の生育場所もう
まく捉えられている。

・ヒメジョオンと生育場所
も開花季節も重なるの
で、判定が難しい。決め
手は茎の断面。



田んぼの生きもの調査

有機農家の田んぼで、農家・学生・お母さんとお子さんも



山口市阿東

小学校の授業に大学生と ~きっかけになった2人の生き物好きの若者



田布施町の有機農家の田で

ところで...

おちゃわん1杯のごはんは、
お米何つぶ？

書いてみましょう！

ごはん = ミジンコ
1杯 = 5093匹



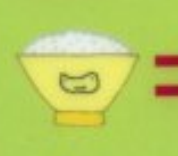
薄羽黄トンボ = ごはん
1匹 = 6杯



秋アカネ = ごはん
1匹 = 3杯



ごはん = カブトエビ
1杯 = 4匹



糸トンボ類 = ごはん
1匹 = 9杯



絵の式の見方
ごはん = 米粒 = 稲株 = オタマジャクシ
1杯 = 3000~4000粒 = 3株 = 35匹

ごはん

米粒

稲株

オタマジャクシ



ごはん = 豊年エビ
1杯 = 11匹



土ガエル / 沼ガエル = ごはん
1匹 = 6杯



生きものもごはんも田んぼのめぐみ

データは、2001年の全国調査の平均値です

稲3株分(0.15㎡)の田んぼで、オタマジャクシは35匹育っています

NPO法人 農と自然の研究所 TEL:092-326-5595 (社) 農村環境整備センター TEL:03-5645-3671

雨ガエル = ごはん
1匹 = 67杯



殿様ガエル = ごはん
1匹 = 113杯



メダカ = ごはん
1匹 = 83杯



ドジョウ = ごはん
1匹 = 46杯



ヤマカガシ = ごはん
1匹 = 3500杯



ほら、見て！
オタマジャクシ
とメダカ

まず、
畦(あぜ)から
よく観察します

徳地中央小学校



見て！

「ほら捕まえた」。初めて使う手網
の中で、オタマジャクシやメダカが

跳ねる

名前(なまえ)がわかるとともだちになる

観 察

師安溪貴子さん(左端)の分かりやすい説明に子どもたちも興味津々

生きた教材で観察会。山口大講



お百姓さん「こどもがいる田んぼはたのしい！」

んぼに満足そう

子らと一緒に

すっかり童心に帰った研究会メンバー。多彩な生き物がすむ田



そして、
生きものが
こんなに色々
田んぼに
いたことに
お百姓さんが
おどろく！



オタマジャクシ



アマガエルは、体色を変化させることができる



モリアオガエルとシュレーゲルアオガエル 泡のような卵



カワニナ→
ゲンジボタルの食べ物
↓アカハライモリ



シマヘビは田んぼが大好き



減っています

秋の七草

カワラナデシコ

オミナエシ



やますそ
川の土手
田んぼの土手
道路わき



秋の七草

リンドウ

キキョウ



斜面と水路の
あだが、
草刈りで
明るくなると、
毎年咲きます



棚田の土手、明るい山道
草刈りをすると咲く

田んぼをつくることを
あてにしている
いきものたちがたくさんいる

- 四季の中に 毎年
- たしかな人の営み
- たしかにその田が、池が、草地在現れる
- たしかに芽が出て、花が咲いて…

これらは、お米を食べるとまもれるいのち…

講義でみせるのは、山口で撮った写真です。

そして、やまぐちにいる間に
出会ってください、
と結びます